

地域福祉推進学習用

演習課題

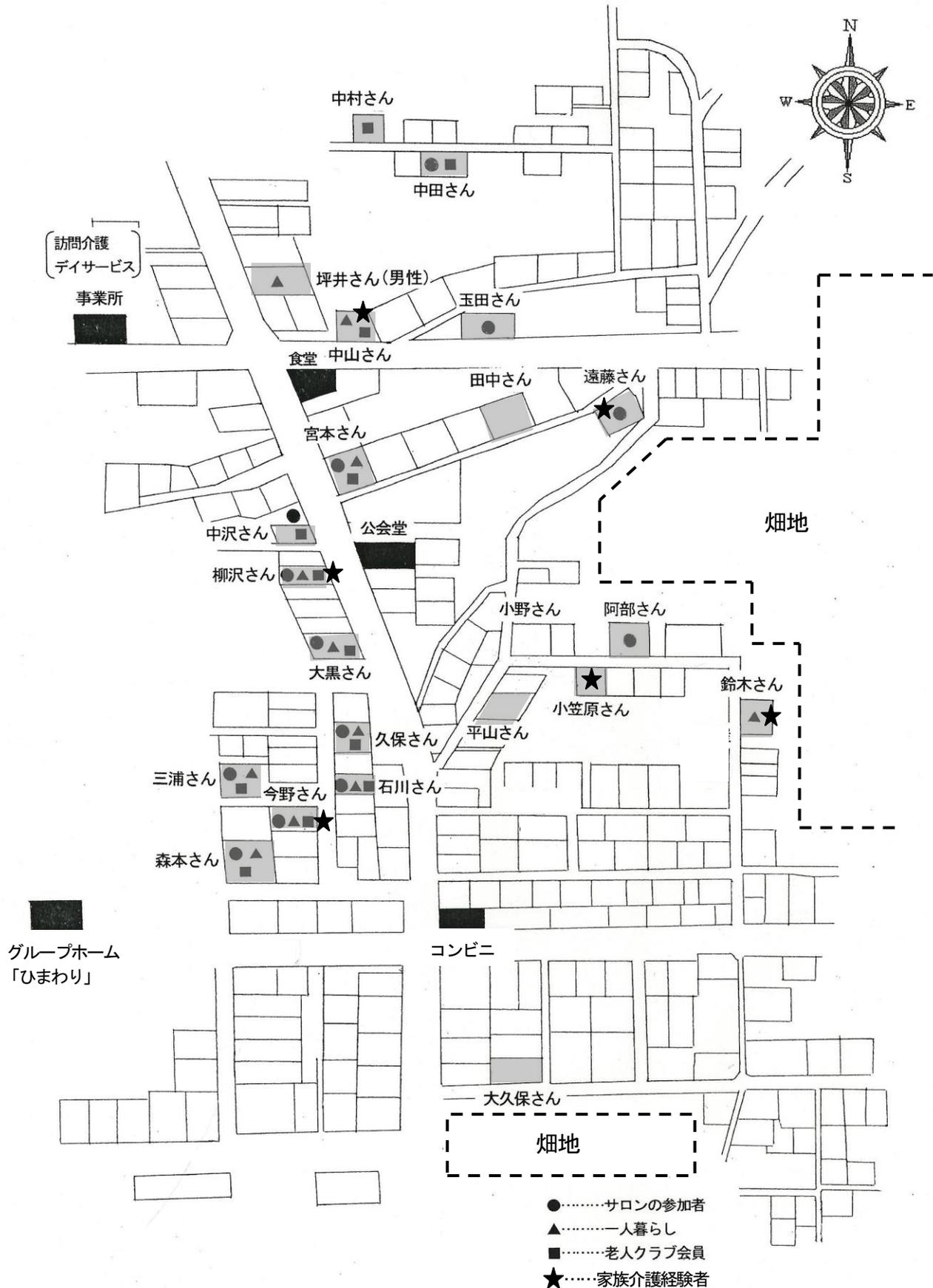
住民流福祉総合研究所

1. ご近所の住民の支え合いの実態

以下の事実を別添マップに記入してみましょう

- ①中村さんは要介護になってから、公会堂で催される老人クラブの行事には参加できなくなりました。クラブ仲間の中田さんだけが、時々遊びに来てくれます。
- ②その公会堂ではふれあいサロンが開かれています。リーダーは、この地区で一番の世話焼きの遠藤さん。その補佐を民生委員の玉田さんと、元看護師の阿部さんが勤めています。玉田さんは調理師の免許も持っています。
- ③田中さんはデイサービスに行くようになって、ふれあいサロンから遠ざかるようになりました。
- ④坪井さんは、奥さんに亡くなられてから隣人との交流を一切せず、引きこもっていますが、地区の東側にある畑へは毎日出かけています。食事は毎日、コンビニ弁当で間に合わせています。
- ⑤世話焼きの今野さん宅では、サロン仲間の石川さん、久保さん、三浦さん、森本さんが集まって井戸端会議を開いていましたが、今野さんは最近脳溢血で入院、要介護になったため、隣町の息子さんに引き取られていきました。4人も、頼れる相手と拠点を失い、困っています。
- ⑥中沢さん宅は寝たきりの夫と、彼を介護する妻の2人暮らしです。ヘルパーが週に2回来ていますが、最近介護にも疲れが見えてきています。隣の柳沢さんが、時々様子を見たり、買い物の手伝いをしてあげています。
- ⑦昔、病院の付添婦をしていた小野さんは、最近認知症になりました。午前中は自宅周辺を散歩し、午後は小笠原さんの家へ上がっていきます。一人で母を介護している娘は、隣町のグループホーム「ひまわり」で夜勤をしますが、母のことが心配です。斜向かいの阿部さんは小笠原さんの親友です。
- ⑧小野さんと大の仲良しだった平山さんも最近認知症になり、家族の意向でグループホーム「ひまわり」に入所しました。
- ⑨この地区の東側にはまとまった畑があり、そこで中山さんや鈴木さん、宮本さんらが隣り合っていますが、このごろは女性の手では耕作はかなり負担になってきています。
- ⑩大久保さん（女性）は今85歳。53歳の知的障害の息子と2人暮らしです。家に隣接した畑の耕作は息子の役割ですが、自分の亡き後、息子がどうなるのかを考えたら、夜も寝られません。
- ⑪大黒さんは亡き夫が遺した膨大な鉢植えをどうしたものか途方に暮れています。

2. ご近所の住民の支え合いマップ



3. その人の問題、こう解決したら？

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

8.

9.

10.